



国土交通省北海道開発局・PAPAIOS共催 地域連携セミナー ～データで読み解く北海道経済ワークショップ～

令和6年3月12日、9期目となる北海道総合開発計画が閣議決定されました。

北海道は、全国に10年先んじて進む人口減少や広域分散型社会という課題を抱えており、地域経済の活性化やコミュニティの活力維持が困難となっていくことが懸念されます。同計画の推進に当たっては、多様で豊かな地域社会の形成に向けて、国内外との関係人口の創出・拡大等による活力ある地域コミュニティを実現するため、人への投資と多様な人材・主体による共創を図ることとしています。

<はじめに>

当局では、同計画を立案・推進する上で、北海道の経済・社会動向を的確に把握する必要があることから、道内の産業構造及び産業間の相互依存関係を計量的に明らかにする基礎資料として「北海道産業連関表」を昭和30年表からおおむね5年ごとに作成しています。

当局は、学官の交流活性化と連携強化を図るために環太平洋産業連関分析学会（PAPAIOS）に入会しており、本イベントは、北海道経済や地域づくりに関心のある大学生を対象に、経済分析スキルを身につける機会を提供し、北海道の未来を担う人材の育成を目的として、同学会と共催しました。



国土交通省北海道開発局開発監理部開発計画課

＜国土交通省北海道開発局・PAPAIOS共催
地域連携セミナー
～データで読み解く北海道経済ワークショップ～＞

日 時：令和7年10月4日（土）
11：00～16：00
場 所：エア・ウォーターの森
共 催：環太平洋産業連関分析学会（PAPAIOS）
後 援：北海道
参加人数：19名

1 開会挨拶

環太平洋産業連関分析学会 会長 石川 良文 氏

産業連関分析は、ノーベル経済学賞を受賞している歴史ある手法であり、経済構造や波及効果分析ができます。産業連関分析を今回実際に手を動かして体験することで、今後、分析ができる社会人へ成長されることを願います。



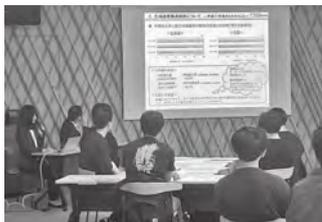
2 第1部 産業連関表に関する講演

(1) 産業連関表から読み解く北海道経済

国土交通省北海道開発局開発監理部開発計画課

高橋 美穂

白衣の天使で知られているナインテーンが、実は統計学者でもあったという事例を用いながら統計の重要性について説明した後、産業連関表の見方や、全国と比較した北海道の産業構造について紹介しました。



(2) 経済波及効果はどう測るのか

～産業連関表の活用事例紹介～

近畿大学短期大学部 教授 入江 啓彰 氏

経済波及効果の推計方法をはじめ、産業連関表の活

用事例として、今年開催された大阪・関西万博や過去にプロ野球チームがリーグ優勝した際の経済波及効果について紹介しました。



3 第2部 Fビレッジがもたらす北海道への経済波及効果推計

(1) 班別検討 令和7年度のFビレッジの経済波及効果推計

人々の消費行動がどれほどの経済効果を生みだし、どの産業部門にお金が落ちるのかなど、北海道ボールパークFビレッジを事例に、実際に経済波及効果を推計する体験をしてもらいました。前提条件となる観光客数や消費単価を班別に検討・推計し、最終需要額を推計後、当局のHPにて公表している「経済波及効果分析ツール」を使用して経済波及効果を推計しました。

(2) 発表

設定する前提条件の差によって、各班ならではの視点が結果に表れていました。ある班からは中長期的効果とリスクとして、今後の持続的な波及や投資回収問題等の指摘もありました。



～各班の推計結果～

グループ	生産誘発額 (億円)	粗付加価値誘発額 (億円)	新規就業誘発 (人/年)
A班	1,851	1,010	19,654
B班	1,737	947	18,669
C班	1,806	975	19,097
D班	1,916	1,032	20,544

(3) 講評

近畿大学短期大学部 教授 入江 啓彰 氏

最終需要の想定値設定により、各班の結果にバラツキが生じたことに触れながら、経済波及効果を高めるには、人数の増加や消費単価を上げることが考えられるものの、需要と供給のバランスを考慮することも重要です。

札幌大学地域共創学群 教授 武者 加苗 氏

同じツールを使用しても、前提条件を変えることによる結果の変化に、分析の面白さを学生が理解できたと思います。また、「値上げが悪い」、「経済波及効果は大きい方がよい」といった曖昧な考えではなく、推計データに基づいた政策提言や事業計画を提案することが重要です。



左側：武者教授、右側：入江教授

(4) 閉会挨拶

国土交通省北海道開発局開発監理部開発計画課 課長 松永 明博

今回、産業連関表というツールを通して、現実の産業構造の中でどのような動きが生じるのかを体験的に理解できる機会となったと思います。

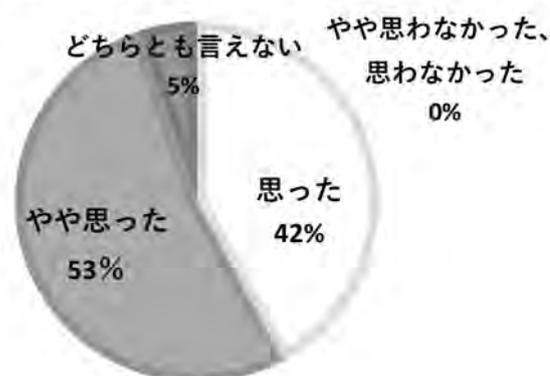
今後の経済ニュースを読み解く新たな視点や将来のキャリアを考える上で活用いただけることを期待します。



(5) アンケート結果

参加者のアンケート結果では、友人・知人等に勧めたい、今後の学習や研究に役立つと思ったという回答が9割以上でした。

Q. 友人・知人等に勧めたいと思ったか



<北海道産業連関表について>

(1) 北海道産業連関表の概要

令和8年2月10日に「令和2年北海道産業連関表」を公表しました。

産業連関表とは、ある地域経済において一定期間(通常1年間)に行われた財(原材料等)及びサービスの産業部門間取引を一つの行列(マトリックス)に示した統計表です。

産業連関表を縦(列)方向にみると、各産業部門が生産活動に要した財及びサービスの購入費用である中間投入と、生産活動により新たに付加された価値である粗付加価値に分類され、生産するために必要とした原材料等及び粗付加価値の費用構成がわかります。

また、横(行)方向にみると、各産業部門に原材料等として消費される中間需要と、消費、投資及び輸移出からなる最終需要、輸移入に分類され、生産物の販路構成がわかります。

昨年度、全国版の令和2年産業連関表(総務省)が公表されましたので、それを基に令和2年北海道産業連関表を作成しました。

